

ぎやらりー わ

NO.80 2017年10月号



♡ 花の村内散歩
コスモス

編集・発行 NPO法人グループわ (水町 亮治) ホームページ <http://www.wa-net.jp>
〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番16号シルバーカレッジ内 TEL078-743-8101 FAX743-3830

たのしいあきまつり



こべっこランド

9月16日(土)、神戸市総合児童センター(こべっこランド)7階こべっこホールと研修室で“たのしいあきまつり”が開催されました。これは、グループわが企画運営を任されておこなうもので、好評だった昨年に続き今年第2回目になります。当日は、台風18号が目前に迫る微妙な天気でしたが、親子連れを中心に約430人の来場があり、会場は笑顔と活気にあふれていました。ご協力いただいたグループは、以下の通りです。おつかれさまでした。◎むかしあそび研究会「こま回し・けん玉」「紙トンボ」「はねかえる」「折り紙・ぶんぶんごま」「お手玉・あやとり」◎うらしまたろう「バルーンアート(動物風船)」「皿回し」◎人形劇ほたる座「おむすびころりん」◎グループわ 本部「妖怪はいはい」「輪投げ」(写真:編集 浜田哲夫)



ボランティアの輪をひろげよう

80号の内容

特集 今年グループわ 20周年

初代委員長福原さんを囲んで	2・3面	永年会員表彰受賞者に聞く	4・5面
ボランティアの心	6面	区会だより	9面
学習支援者の集い	7面	カレッジだより	10面
大川小学校再訪記	7面	イベント予定 10月～12月	11面
新設グループ紹介	8面	役員体制、編集後記	11面

結成当時を振り返る！！

今年グループわ 結成20周年。“ぎやらりーわ”では、初代委員長・福原克巳さんにご登場いただき、設立当時のお話などをお聞きしました。20年前のことを、まるで昨日のこのように熱く語っていただき、刺激に満ちた1時間半でした。今後の活動に、ぜひ活かしていきたいと思えます。以下、お話の概要を紹介します。

聞き手：水町、大槻、米増、安部、岸野、
藤田、才上、浜田 まとめ：浜田

☎熱く語ってくれた福原さん



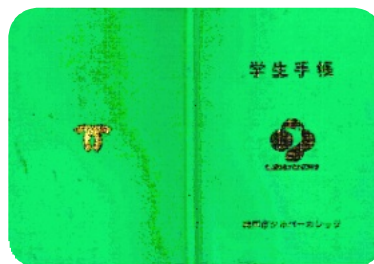
グループわに結実した 建学の精神が

「再び学んで他のために」

みなさん、この建学の精神はよく耳にするので、KSC建学当初からあったと思われているでしょうが、実はそうではありません。今は亡き当時の今井学長が作られたのでもない。2期生は入学当初から「再び学んで他のために」という言葉を聞いていたということなので、1期生が1年の時に言われ始めたようです。誰が作られたのか、ルーツを探ったがもう一つはっきりしないのが残念です。神戸市のしあわせの村条例に、「シルバーカレッジでは高齢者に学習及び実践活動の場を提供する」とあり、KSC設立趣旨では「学びの喜び」「時代の変化への対応」「伝統の心の継承」とある。このような考え方が素晴らしいキャッチフレーズになって、オーソライズされたのでしょうか。

今井学長の思い出

入学後の学長のお話で、「シルバーカレッジはいわゆる老人大学ではない。3年間学び、卒業して社会に出て、子ども見守り等々の地域貢献活動を実践できる人材を育成する、壮大な社会実験の場である。高齢化社会、高齢社会、超高齢社会と変化していく中で、これからの日本は高齢者が変わらなければいけない。」と言われ、いきなりショックを受けました。カレッジ生の中には、俺はそんなつもりで入学したのではないと反発する人もいましたね。



☎シルバーカレッジ発足当時の学生手帳

当時のカレッジ生

カレッジに入学した人たちは3分類できるなと思っていました。最初からボランティア活動をしようと思って入った人は少数です。今もそうではないですか。

- ①自治会等々でボランティア活動してきたが、さらに向上を目指す人たち
- ②カルチャーセンター的な位置づけでとらえてクラブ活動にとりくむ人たち
- ③会社勤め等で地域とのつながりがなく、一からスタートの人たち

このようなカレッジ生が新しい生き方を探り、新しい人との接し方を学び、シルバーカレッジに入学した価値を確かめ、活動するようになりました。

エピソード「入学試験」

シルバーカレッジが開校したのは平成5年9月。このときは、募集440人に対して応募が740人と多かったので、入学試験がありました。国語の試験で「平家物語」「草枕」等の作品名とその中の有名なフレーズを結べという問題や、以下にあげられた野菜の内、緑黄色野菜はどれかといった問題、ボランティアをテーマにした小論文もあったと思います。試験で選ばれたので、間違えてエリート意識を持った人もいたかもしれないね。

結成当時を振り返る！！



今年グループわ 結成20周年。“ぎやらりーわ”では、初代委員長・福原克巳さんにご登場いただき、設立当時のお話などをお聞きしました。20年前のことを、まるで昨日のことにように熱く語っていただき、刺激に満ちた1時間半でした。今後の活動に、ぜひ活かしていきたいと思えます。以下、お話の概要を紹介します。

聞き手：水町、大槻、米増、安部、岸野、藤田、才上、浜田 まとめ：浜田

☞熱く語ってくれた福原さん

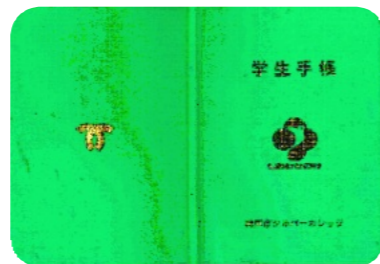
グループわに結実した建学の精神が

「再び学んで他のために」

みなさん、この建学の精神はよく耳にしているので、KSC建学当初からあったと思われるのですが、実はそうではありません。今は亡き当時の今井学長が作られたのでもない。2期生は入学当初から「再び学んで他のために」という言葉を聞いていたということなので、1期生が1年の時に言われ始めたようです。誰が作られたのか、ルーツを探ったがもう一つははっきりしないのが残念です。神戸市のしあわせの村条例に、「シルバーカレッジでは高齢者に学習及び実践活動の場を提供する」とあり、KSC設立趣旨では「学びの喜び」「時代の変化への対応」「伝統の心の継承」とある。このような考え方が素晴らしいキャッチフレーズになって、オーソライズされたのでしょう。

今井学長の思い出

入学後の学長のお話で、「シルバーカレッジはいわゆる老人大学ではない。3年間学び、卒業して社会に出て、子ども見守り等々の地域貢献活動を実践できる人材を育成する、壮大な社会実験の場である。高齢化社会、高齢社会、超高齢社会と変化していく中で、これからの日本は高齢者が変わらなければいけない。」と言われ、いきなりショックを受けました。カレッジ生の中には、俺はそんなつもりで入学したのではないと反発する人もいましたね。



☞シルバーカレッジ発足当時の学生手帳

当時のカレッジ生

カレッジに入学した人たちは3分類できるなと思っていました。最初からボランティア活動をしようと思って入った人は少数です。今もそうではないですか。

- ①自治会等々でボランティア活動してきたが、さらに向上を目指す人たち
- ②カルチャーセンター的な位置づけでとらえてクラブ活動にとりくむ人たち
- ③会社勤め等で地域とのつながりがなく、一からスタートの人たち

このようなカレッジ生が新しい生き方を探り、新しい人との接し方を学び、シルバーカレッジに入学した価値を確かめ、活動するようになりました。

初代委員長 福原克巳さんを囲んで

阪神淡路大震災発生

当時は9月入学だったので、1期生が2年生になり、2期生も入学した平成7年1月17日、阪神淡路大震災発生。この後、10月までカレッジは自然休校。しあわせの村温泉が無料開放され、近隣カレッジ生の案内ボランティアが自然に始まりました。シルバーカレッジ校舎は救援物資の兵站基地になり、足の踏み場もない状態。この物資管理業務を手伝うボランティアも自然に始まりました。



阪神大震災でカレッジは十月まで休校 ボランティア活動が自然発生

阪神大震災でカレッジは十月まで休校

グループわ 結成の経緯

阪神淡路大震災の2年後、平成9年春に1期生は卒業したのですが、ボランティア活動がせっかく根付いてきているのに、卒業したら活動と縁が切れてしまう。これでよいのかという声が起こってきました。そこで、各コース・専攻から14名の代表を選び、合計5回の準備会開催。そして7月22日、グループわが発足しました。

準備会ではいろんな議論が白熱しまし

た。例えば、ボランティア活動の無償性の問題。活動参加しても交通費も何も補てんされないことがある。このようなときには500円の活動費を支給したらどうか?! そんなのはおかしい!! とかね。

当時、創業100周年を迎えた川崎重工業から神戸市に1億円の寄附があり、その利息を老人福祉に使うということで、〈わ〉に補助がもらえることになり、支給されることになりました。運もよかったですね。

発足当初の思い出

当初はいろいろと手探りで試行錯誤、頭でっかちの面もあったと思います。会員からは「組織を作ったのに、活動案内を何も言っていないではないか!」とお叱りを受けたりもしましたが、ボランティア活動は自主的な活動で、自ら志願してニーズを探しに行く必要がある。

「百聞は一見に如かず」と言うが、ボランティア活動は「百考は一行に如かず」で実践が大事です。発足1年目の反省をふまえて、2年目には地域密着ということで区会をスタートさせ、また新たに地域ニーズに対応する福祉部会もスタートしました。「実践なき理論は空疎である。逆もまた真なり。」ということですね。

第1期卒業生342名の内、半数の約170名がボランティア活動部会に登録。活動がスタートした。



NPO法人への衣替え

当時いろいろ議論がありました。正直言うと私は消極派だったんですが、当時の委員長の赤司さんが推進派で頑張ってくれた。法律に則った組織で行政からも認められ、社会的地位を高めて、よりしっかりした組織でよりよい活動を進めようというものです。今は会員数1,400名を超え、多くのグループによる多彩な活動に加え、動員力を誇れるまでになったと思います。

今後の〈わ〉に対して

いろんな社会背景や阪神淡路大震災があったのですが、シルバーカレッジの建学精神「再び学んで他のために」のもとで、ボランティア活動が自然に体験でき、グループわが自然に生まれ、今オフィシャルな組織に発展した。こういう組織、活動を作ったというのは素晴らしいことです。

この建学の精神が、これからもカレッジ生の個々の中に生き続ければ言うことはありません。

組織と人との関係ですが、組織で人を縛るのではなく、人の個性や力を生かすやり方が大事だと思います。グループわには、これからもこのゆるやかさを保ってほしいと思います。

初代委員長

福原克巳さんを囲んで

阪神淡路大震災発生

当時は9月入学だったのですが、1期生が2年生になり、2期生も入学した平成7年1月17日、阪神淡路大震災発生。その後、10月までカレッジは自然休校。しあわせの村温泉が無料開放され、近隣カレッジ生の案内ボランティアが自然に始まりました。シルバーカレッジ校舎は救済物資の兵站基地になり、足の踏み場もない状態。この物資管理業務を手伝うボランティアも自然に始まりました。



阪神大震災でカレッジは十月まで休校
ボランティア活動が自然発生

グループわ 結成の経緯

阪神淡路大震災の2年後、平成9年春に1期生は卒業したのですが、ボランティア活動がせっかく根付いてきているのに、卒業したら活動と縁が切れてしまう。これでよいのかという声が起こってきました。そこで、各コース・専攻から14名の代表を選び、合計5回の準備会開催。そして7月22日、グループわが発足しました。

準備会ではいろんな議論が白熱しまし

た。例えば、ボランティア活動の無償性の問題。活動参加しても交通費も何も補てんされないことがある。このようなときには500円の活動費を支給したらどうか?! そんなのはおかしい!! とかね。

当時、創業100周年を迎えた川崎重工業から神戸市に1億円の寄附があり、その利息を老人福祉に使うということで、〈わ〉に補助がもらえることになり、支給されることになりました。運もよかったですね。

発足当初の思い出

当初はいろいろと手探りで試行錯誤、頭でっかちの面もあったと思います。会員からは「組織を作ったのに、活動案内を何も言ってこないではないか!」とお叱りを受けたりもしましたが、ボランティア活動は自主的な活動で、自ら志願してニーズを探しに行く必要がある。

「百聞は一見に如かず」と言うが、ボランティア活動は「百考は一行に如かず」で実践が大事です。発足1年目の反省をふまえて、2年目には地域密着ということで区会をスタートさせ、また新たに地域ニーズに対応する福祉部会もスタートしました。

「実践なき理論は空疎である。逆もまた真なり。」ということですね。

第1期卒業生342名の内、半数の約170名がボランティア活動部に登録。活動がスタートした。



NPO法人への衣替え

当時いろいろ議論がありました。正直言うと私は消極派だったんですが、当時の委員長の赤司さんが推進派で頑張ってくれた。法律に則った組織で行政からも認められ、社会的地位を高めて、よりしっかりした組織でよりよい活動を進めようというものです。今は会員数1,400名を超え、多くのグループによる多彩な活動に加え、動員力を誇れるまでになったと思います。

今後の〈わ〉に対して

いろんな社会背景や阪神淡路大震災があったのですが、シルバーカレッジの建学精神「再び学んで他のために」のもとで、ボランティア活動が自然に体験でき、グループわが自然に生まれ、今オフィシャルな組織に発展した。こういう組織、活動を作ったというのは素晴らしいことです。

この建学の精神が、これからもカレッジ生の個々の中に生き続けなければならない。

組織と人との関係ですが、組織で人を縛るのではなく、人の個性や力を生かすやり方が大事だと思います。グループわには、これからもこのゆるやかさを保ってほしいと思います。

功労賞（個人表彰）に淡路氏、北山氏

グループわの平成29年度功労賞に選ばれた両氏が第14回定期総会で表彰され、小畑前理事長から表彰状と副賞が手渡されました。小畑前理事長から「長年にわたってボランティア活動に励み、グループわの発展に貢献されました」と感謝の言葉があり、その後、両氏の活動ぶりがパワーポイントで紹介されました。

淡路 忠義 氏（福祉5）

朗読あかりの会代表を19年目。聴覚障害者用に名著本と雑誌の録音書の作成・贈呈など。

むかしあそび研究会では立上初期に会長を務める。その他に特養神港園では、現在15年にわたりドライヤーサービスを月2回実施している。



北山 秀俊 氏（国際9）

2004年カレッジ3年生のグループ学習でマンマーをテーマとして学習し、カレッジ卒業と同時にグループわ国際部会に入会し、マンマー留学生支援グループの代表として現在まで10年以上にわたって活動を続けている。



水の科学博物館 “5月GWイベント” を開催

今年の5月GWのイベントは親子客に喜んでほしい、一般見学客をさらに増やしていきたいということで、従来にも増して力が入りました。ご協力をいただいた各グループの皆様、お疲れ様でした。

〔イベント〕

- 5/3（水） “一寸奉仕” による大道芸「南京玉すだれ」「皿回し」他
- 5/4（木） “おはなし糸車” による紙芝居「鶴の恩返し」他
- 5/5（金） “人形劇ほたる座” による人形劇
- 5/6（土） “楽遊クラブ銀雅” による銭太鼓。
- 5/7（日） “SCクラブ大正琴” による大正琴演奏。

◎来館者数

1日あたり平均199名

注) 昨年は平均170名、
昨年比17%の伸び。



しあわせの村では “わいわいストリート”

しあわせの村わいわいストリート(グループわ・こうべ市民福祉振興協会共催)がこどもの日の5月5日、芝生広場で開かれました。曇り後雨の予報でしたが、終日五月晴れ。親子連れを中心に1,500人がゲームや木工教室、ケナフ紙すきなどを楽しみました。



“むかしあそび研究会” 竹馬、コマまわし、ぶんぶんごま、けん玉、紙飛行機など “うらしまたろう” バルーンアート、皿回し

“折り紙グループ悠々” 初参加。新聞紙でカブト

“ケナフの会” 押し花絵葉書としおり作り

“木エグループ” のぼり人形、自動車、モビール作り

〈わ〉本部は妖怪ホイホイと輪投げを担当。幼い子供たちと

午後3時30分まで楽しく遊びました。〈わ〉のスタッフ

は総勢140人が活動。1人200円の参加費を頂戴した子供さんは50人でした。



永年会員表彰

7月22日開催のグループわ 設立20周年記念式典で15年以上継続加入の方59名に、永年会員表彰を行いました。代表して福原克巳（福1）さんに水町理事長より表彰状と記念品を授与しました。

授賞式に参加された方からは、『予想していなかったことでも喜んでます』

『今日の晴れ舞台、何を着ていこうかしらと悩み？』多くの方から喜びの声が聞かれました



表彰式に参加された方の記念写真

木原 愛子 (福1)	胤艸 武宏 (福1)	津田 彰子 (福1)	中川 朝 (福1)	福原 克巳 (福1)	杉田 泰子 (国1)
児玉 浄 (生1)	大野佐希子 (音1)	荻原 允子 (音1)	近森八重子 (音1)	門脇 淳子 (福2)	福島 弘美 (国2)
五味登美子 (生2)	泉田 政子 (音2)	河野 智美 (音2)	宮城 智子 (音2)	空閑 義郎 (福3)	桑原サト子 (福3)
平尾 順子 (福3)	細野 恵久 (福3)	加藤 悦子 (福3)	河合 ふつ (福3)	井上佳奈子 (国3)	田尾多恵子 (国3)
新田 昌明 (国3)	山根 義男 (国3)	吉岡乃夫子 (国3)	尾末 幸子 (生3)	坪井 幸子 (生3)	永井 経子 (生3)
榊田みどり (生3)	住田 暉江 (食3)	鍵本 慶子 (福4)	濱岡 吉孝 (福4)	横山 忠明 (福4)	太田 洋子 (国4)
豊田 實 (生4)	西向 弘光 (生4)	江田 正子 (音4)	宮本奈保子 (音4)	大月 康董 (園4)	淡路 忠義 (福5)
井関 一三 (福5)	藤原 滋一 (福5)	浅野 禮子 (国5)	栗本 隆雄 (国5)	中村 吉宏 (国5)	足立 幸夫 (生5)
前田 羌 (生5)	常信 久子 (音5)	濱谷 倫子 (音5)	深川久美子 (音5)	田中 剛 (園5)	井上 善道 (食5)
入谷 清弘 (食5)	裏地 彦允 (食5)	玉田 久子 (食5)	飯井 冴子 (一般)	橋野 美子 (一般)	

有志の皆さんによる誌上座談会

①カレッジ入学の動機は？

濱岡さん 須磨区役所でKSCの入学案内を見て『再び学んで他のために』のスローガンと「豊かな人生経験をもとに…社会に貢献することを目指し学び合う生涯学習の場」という言葉が心に響き入学を決意した。

門脇さん 3月に児童館を定年退職、9月の入学まで半年間の充電期間を経て、これまでの経験とは別の老人福祉の勉強が出来ればと、福祉コースを選び入学しました。

細野さん 開校間もないキャンパスを見学、貼り紙一つ無く、学生の存在さえ感じられないこの壁面を生き生きした姿に変えてみたいという意欲が湧いた。

宮城さん 仕事をしながらの忙しい毎日ではありましたが、1期生の親しい友人からシルバーカレッジへの入学を勧められ、2期生として入学しました。

豊田さん 新しい友と仲間を作り、生涯学習に役立つものと考え入学を希望し『再び学んだことを社会に還元する』このシルバーの教訓をもとに、歴史探訪で頑張ってみようとう入学を決心した。

②ボランティア活動を始められた動機は？

宮城さん 大震災後にカレッジが救援物資の集積場となり、休校となり学校に来られた友人に声をかけ大久保や有馬口の老人ホームに楽器を積んで、音楽で訪問ボランティアをしたのがきっかけです。

豊田さん カレッジに入学して歴史探訪の会を結成してKSCの学生さんに歴史は魅力ある学習である事を知ってもらおう！そんな思いで頑張ってきました。この実践の生甲斐が忘れられず、今まで続けている。

細野さん 年が明けるとあの大震災。カレッジに駆けつけクラスの安否確認など役に立つと思うことをやった。第1回の「この指とまれ」学生集会でボランティアセンター設立メンバーに加わったこと。

門脇さん 震災直後避難所への炊き出し、被災者の運動不足解消のお手伝いなど、皆さんが一日も早く元の生活に戻れるようにとの一心で頑張りました。

濱岡さん 平成13年、KSCの卒業研究で協力頂いた小学校から「伝承的な昔遊び」で授業への参加要請があり、卒業・在校生に呼びかけ28名が参加。（後のむかしあそび研究会）好評を得る。これが動因。

永年会員表彰

7月22日開催のグループわ 設立20周年記念式典で15年以上継続加入の方59名に、永年会員表彰を行いました。代表して福原克巳（福1）さんに水町理事長より表彰状と記念品を授与しました。

授賞式に参加された方からは、『予想していなかったことでとても喜んでます』『今日の晴れ舞台、何を着ていこうかしらと悩み？』多くの方から喜びの声が聞かれました



表彰式に参加された方の記念写真

- | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 木原 愛子 (福1) | 胤艸 武宏 (福1) | 津田 彰子 (福1) | 中川 朝 (福1) | 福原 克巳 (福1) | 杉田 泰子 (国1) |
| 児玉 浄 (生1) | 大野佐希子 (音1) | 荻原 允子 (音1) | 近森八重子 (音1) | 門脇 淳子 (福2) | 福島 弘美 (国2) |
| 五味登美子 (生2) | 泉田 政子 (音2) | 河野 智美 (音2) | 宮城 智子 (音2) | 空閑 義郎 (福3) | 桑原サト子 (福3) |
| 平尾 順子 (福3) | 細野 恵久 (福3) | 加藤 悦子 (福3) | 河合 ふつ (福3) | 井上佳奈子 (国3) | 田尾多恵子 (国3) |
| 新田 昌明 (国3) | 山根 義男 (国3) | 吉岡乃夫子 (国3) | 尾末 幸子 (生3) | 坪井 幸子 (生3) | 永井 経子 (生3) |
| 梶田みどり (生3) | 住田 暉江 (食3) | 鍵本 慶子 (福4) | 濱岡 吉孝 (福4) | 横山 忠明 (福4) | 太田 洋子 (国4) |
| 豊田 實 (生4) | 西向 弘光 (生4) | 江田 正子 (音4) | 宮本奈保子 (音4) | 大月 康董 (園4) | 淡路 忠義 (福5) |
| 井関 一三 (福5) | 藤原 滋一 (福5) | 浅野 禮子 (国5) | 栗本 隆雄 (国5) | 中村 吉宏 (国5) | 足立 幸夫 (生5) |
| 前田 羌 (生5) | 常信 久子 (音5) | 濱谷 倫子 (音5) | 深川久美子 (音5) | 田中 剛 (園5) | 井上 善道 (食5) |
| 入谷 清弘 (食5) | 裏地 彦允 (食5) | 玉田 久子 (食5) | 飯井 冴子 (一般) | 橋野 美子 (一般) | |

有志の皆さんによる誌上座談会

①カレッジ入学の動機は？

濱岡さん 須磨区役所でKSCの入学案内を見て『再び学んで他のために』のスローガンと「豊かな人生経験をもとに…社会に貢献することを目指し学び合う生涯学習の場」という言葉が心に響き入学を決意した。

門脇さん 3月に児童館を定年退職、9月の入学まで半年間の充電期間を経て、これまでの経験とは別の老人福祉の勉強が出来ればと、福祉コースを選び入学しました。

細野さん 開校間もないキャンパスを見学、貼り紙一つ無く、学生の存在さえ感じられないこの壁面を生き生きした姿に変えてみたいという意欲が湧いた。

宮城さん 仕事をしながらの忙しい毎日ではありましたが、1期生の親しい友人からシルバーカレッジへの入学を勧められ、2期生として入学しました。

豊田さん 新しい友と仲間を作り、生涯学習に役立つものと考え入学を希望し『再び学んだことを社会に還元する』このシルバーの教訓をもとに、歴史探訪で頑張ってみようと入学を決意した。

②ボランティア活動を始められた動機は？

宮城さん 大震災後にカレッジが救援物資の集積場となり、休校となり学校に来られた友人に声をかけ大久保や有馬口の老人ホームに楽器を積んで、音楽で訪問ボランティアをしたのがきっかけです。

豊田さん カレッジに入学して歴史探訪の会を結成してKSCの学生さんに歴史は魅力ある学習である事を知ってもらおう！そんな思いで頑張ってきました。この実践の生甲斐が忘れられず、今まで続けている。

細野さん 年が明けるとあの震災。カレッジに駆けつけクラスの安否確認など役に立つと思うことをやった。第1回の「この指とまれ」学生集会でボランティアセンター設立メンバーに加わったこと。

門脇さん 震災直後避難所への炊き出し、被災者の運動不足解消のお手伝いなど、皆さんが一日も早く元の生活に戻れるようにとの一心で頑張りました。

濱岡さん 平成13年、KSCの卒業研究で協力頂いた小学校から「伝承的な昔遊び」で授業への参加要請があり、卒業・在校生に呼びかけ28名が参加。（後のむかしあそび研究会）好評を得る。これが動因。

③15年以上も〈わ〉の会員・ボランティア活動を継続してこられたのは？

豊田さん 会員の皆様に、これ面白い歴史探訪やな！良くわかるな！よし次の会も参加するわ！…こうした実践活動が今も継続している原点。

細野さん いくつになっても「他のために」できることがあると…もう一つ、忘れてならないのは家庭が黙って見ていること。

門脇さん 現在も無理をしないで、楽しみながら継続。自分が精神的・肉体的に健全であること。相手を思いやる事！自分も楽しませて頂いている感謝の気持ちが大切！

濱岡さん 子らと遊び終わったあと『楽しかったよ、また来てね、きっとだよ』という声と笑顔。そして子らと童心に帰り遊ぶうちに、子らから若さと活力を頂いている事。この両者が継続の原動力となっている。

宮城さん 〈わ〉の活動を通じて、たとえ1年に1回でも『やあー元気！』と仲間に会えるのが楽しく楽しい。結局自分自身の健康増進にも繋がっているから、ボランティアは他人のためではなく、

自分の為になっている。

④〈わ〉本部に対する提言・期待等について

細野さん 部会・グループ活動に比べて地域活動への関心が低い。〈わ〉の会員は、もう少し地元の区会活動に関心を向けてもらいたい。本部は、部会は部会、区会は区会と、別々に考えるのではなく両者の連携と協業を積極的に進め、相乗効果を図るべきだろう。

宮城さん 本部活動も昔と異なり助成金の申請など大変だと思います。本部も組織が大きくなり、大変ですが、あまり無理をさせませぬ様に！

豊田さん 〈わ〉も20年経つとその活動がマンネリズムになることが懸念されますが、皆さんの意見を持ち寄り、新たな取り組みにも積極的にチャレンジして欲しい。

門脇さん 私達が安心して活動できるのは本部の皆さんのお蔭と感謝しております。当方は現場で頑張りますので、後継者をしっかり育てて下さい。

濱岡さん 〈わ〉本部との相互理解を基盤にグループ活動を心掛けて来たので、大きな問題もなく、現時点では提言・期待等については特にない。



⑤カレッジの学生も含め後輩に対する助言・期待等について

門脇さん ボランティア先では様々なハプニングもありますが、「ああ楽しかったまた来てね」の言葉が貰える充実感と喜びが忘れられず、これまで続けてきました。皆様も経験を積み重ね頑張ってください。

細野さん 学生の地域交流グループ活動を区会に引き継ぎたい。しかし期待のグループリーダーに〈わ〉入会者が少ない。なぜなのか？

いまカレッジは「他のために」を学ぶ場から自分のための「カルチャー教室」に変わりかけているようだ。カレッジ当局にはクラス内はもとより、同一学年内やコースの先輩後輩間の繋がりを図ってほしい。「他との繋がりが「他のために」の原点と思うからだ。

宮城さん 昔はグループ毎に動くことも集まることもし易かった！現在は孤の時代で集団行動が難しい時代？やはり仲間で動く方が、ボランティアも継続できるのでは？誰かがリーダー（旗振り役）をして行動しないと、継続は無理だと思います。

濱岡さん 在校生の〈こども文化〉の殆どの方が『むかしあそび研究会』に入会される。同じ方向性を持ち、在校生と卒業生が共に研修やボランティア活動をして、暖かい連環が育ち、心強く、互いに得る所大である。

豊田さん 歴史探訪の会を平成6年に立ち上げて、20数年になりますが常に言っていることは『継続は力なり、結果は宝なり、寛容は美德なり』を motto に励んできました。

(編集 藤田健一)

③15年以上も〈わ〉の会員・ボランティア活動を継続してこられたのは？

豊田さん 会員の皆様に、これ面白い歴史探訪やな！良くわかるな！よし次の会も参加するわ！
…こうした実践活動が今も継続している原点。

細野さん いくつになっても「他のために」できることがあると…もう一つ、忘れてならないのは家庭が黙って見てくれていること。

門脇さん 現在も無理をしないで、楽しみながら継続。自分が精神的・肉体的に健全であること。相手を思いやる事！自分も楽しませて頂いている感謝の気持が大切！

濱岡さん 子らと遊び終わったあと『楽しかったよ、また来てね、きっとだよ』という声と笑顔。そして子らと童心に帰り遊ぶうちに、子らから若さと活力を頂いている事。この両者が継続の原動力となっている。

宮城さん 〈わ〉の活動を通じて、たとえ1年に1回でも『やあ元気！』と仲間に会えるのが嬉しい。結局自分自身の健康増進にも繋がっているから、ボランティアは他人のためではなく、

自分の為になっている。

④〈わ〉本部に対する提言・期待等について

細野さん 部会・グループ活動に比べて地域活動への関心が低い。〈わ〉の会員は、もう少し地元の区会活動に関心を向けてもらいたい。本部は、部会は部会、区会は区会と、別々に考えるのではなく両者の連携と協業を積極的に進め、相乗効果を図るべきだろう。

宮城さん 本部活動も昔と異なり助成金の申請など大変だと思います。本部も組織が大きくなり、大変でしようが、あまり無理をされませぬ様に！

豊田さん 〈わ〉も20年経つとその活動がマンネリズムになることが懸念されますが、皆さんの意見を持ち寄り、新たな取り組みにも積極的にチャレンジして欲しい。

門脇さん 私達が安心して活動できるのは本部の皆さんのお蔭と感謝しております。当方は現場で頑張りますので、後継者をしっかり育てて下さい。

濱岡さん 〈わ〉本部との相互理解を基盤にグループ活動を心掛けて来たので、大きな問題もなく、現時点では提言・期待等については特にはない。

(福3) 細野 恵久



(生4) 豊田 實



(福4) 濱岡 吉孝



(音2) 宮城 智子



(福2) 門脇 淳子

⑤カレッジの学生も含め後輩に対する助言・期待等について

門脇さん ボランティア先では様々なハプニングもありますが、「ああ楽しかったまた来てね」の言葉が貰える充実感と喜びが忘れられず、これまで続けてきました。皆様も経験を積み重ね頑張ってください。

細野さん 学生の地域交流グループ活動を区会に引き継ぎたい。しかし期待のグループリーダーに〈わ〉入会者が少ない。なぜなのか？

いまカレッジは「他のために」を学ぶ場から自分のための「カルチャー教室」に変わりかけているようだ。カレッジ当局にはクラス内はもとより、同一学年内やコースの先輩後輩間の繋がりを図ってほしい。「他との繋がりが」「他のために」の原点と思うからだ。

宮城さん 昔はグループ毎に動くことも集まることもし易かった！現在は孤の時代で集団行動が難しい時代？やはり仲間で動く方が、ボランティアも継続できるのでは？誰かがリーダー（旗振り役）をして行動しないと、継続は無理だと思います。

濱岡さん 在校生の〈こども文化〉の殆どの方が『むかしあそび研究会』に入会される。同じ方向性を持ち、在校生と卒業生が共に研修やボランティア活動をして、暖かい連環が育ち、心強く、互いに得る所大である。

豊田さん 歴史探訪の会を平成6年に立ち上げて、20数年になりますが常に言っていることは『継続は力なり、結果は宝なり、寛容は美德なり』をモットーに励んできました。

(編集 藤田健一)

ボランティアの心

今号の“ボランティアの心”は、平成29年度功労賞（個人表彰）を受賞された淡路さんと北山さんにご登場いただきました。

相手も自分も 楽しめるように

淡路 忠義（福祉5期）



活動を始めたきっかけ等

平成10年5月定年を迎え、さて何をするかと考えていた時、カレッジの募集案内を見て（定年前に）入学を決心した。ちょうど高齢化とか介護とかの話がよくあったので、福祉コースを選んだ。

平成13年にはヘルパー2級を習得した。

身体を動かすのが合っているので、入学後すぐ「あそびの会」に入会。福祉関連で視覚障害者のサポートにも参加する（「あかりの会」）。北区のボランティアセンターの依頼を受けて、神港園の活動にも参加する。グループわ 関係の行事にもよく参加している。



神港園で入所者の整髪をする淡路さん

思い出に残ること

参加したすべての行事です。

今後の活動

身体と相談しながらボチボチやっていきたいと思う。

活動を始めようとする人たちへのメッセージ

- ・いろいろなことに 興味を持つ
- ・自分ができるところから始めてみる
- ・持続できることをする
- ・常に新しいことに挑戦してみる
- ・相手が楽しんでもらえるよう、自分も楽しめるように心がける。無理をしない。

ヤンゴン盲学校に 英語点字本を10度寄贈

北山 秀俊（国際9期）



シルバーカレッジのグループ学習の取り組みで、テーマに「ミャンマー」を選んだ。ここでは、福祉活動として、ヤンゴン盲学校へ英語点字本を直接寄贈したことを綴る。

グループ学習は7名で取り組みましたが、卒業後もボランティア活動を続けることを申し合わせて、現認定NPO法人神戸ミャンマー皆好会に加入し、今も3人が活動を継続している。



ヤンゴン盲学校10度目訪問
英語点字本寄贈後記念集合写真
前列右から北山・竹内・盲学校長・

また、グループわ にもミャンマー支援グループとして登録し活動しています。

在学中から竹内義治・東田正喜両氏が英語点字クラブに所属し、英語点字本の選定と製本について、今もクラブとの調整をして頂いている。

2006年卒業の翌年「ミャンマー福祉ツアー」を実施、12名が参加しました。ヤンゴンとピンウールインの盲学校や観光地を巡り、良い思い出になりました。

以後、福祉ツアーに皆好会訪緬ツアーを加え、ヤンゴン盲学校には、10度の訪問で英語点字本を寄贈することができました。

以後、福祉ツアーに皆好会訪緬ツアーを加え、ヤンゴン盲学校には、10度の訪問で英語点字本を寄贈することができました。



- ◎グループわ の会員総数
1,444人/9月末日現在
- ◎水の科学博物館来場者数
37,141人/9月18日現在
- ◎秋のハイキング
紅葉の森林植物園と
トゥエンティクロスを歩く
11月16日(木)10時10分集合
神鉄谷上駅改札口前
申込:グループわ Tel. 743-8101

◎KSC男声合唱団

第6回演奏会
～旅 男のロマン～
10月21日(土)13:15開場
14:00開演
神戸文化ホール 大ホール
入場無料(入場整理券が必要)
問い合わせ先:総務 小畑
(携帯)090-9097-4425

◎第12回楽遊クラブ

銭太鼓交流会
11月18日(土)12:30開場
13:00開演～16:00
シルバーカレッジ ホール
出演:楽遊クラブ銀雅、KSC
楽遊グループ、紅梅の会
(南あわじ)、銭太鼓北山、
若草楽遊会、華音(KAON)
〈入場無料〉

今号の“ボランティアの心”は、平成29年度功労賞（個人表彰）を受賞された淡路さんと北山さんにご登場いただきました。

相手も自分も 楽しめるように

淡路 忠義（福祉5期）



活動を始めたきっかけ等

平成10年5月定年を迎え、さて何をするかと考えていた時、カレッジの募集案内を見て（定年前に）入学を決心した。ちょうど高齢化とか介護とかの話がよくあったので、福祉コースを選んだ。

平成13年にはヘルパー2級を習得した。

身体を動かすのが合っているので、入学後すぐ「あそびの会」に入会。福祉関連で視覚障害者のサポートにも参加する（「あかりの会」）。北区のボランティアセンターの依頼を受けて、神港園の活動にも参加する。グループわ 関係の行事にもよく参加している。

思い出に残ること

参加したすべての行事です。

今後の活動

身体と相談しながらポチポチやっていきたいと思う。

活動を始めようとする人たちへのメッセージ

- ・いろんなことに興味を持つ
- ・自分ができることから始めてみる
- ・持続できることをする
- ・常に新しいことに挑戦してみる
- ・相手が楽しんでもらえるよう、自分も楽しめるように心がける。無理をしない。



神港園で入所者の整髪をする淡路さん

ヤンゴン盲学校に 英語点字本を10度寄贈

北山 秀俊（国際9期）



シルバーカレッジのグループ学習の取り組みで、テーマに「ミャンマー」を選んだ。ここでは、福祉活動として、ヤンゴン盲学校へ英語点字本を直接寄贈したことを綴る。



ヤンゴン盲学校10度目訪問
英語点字本寄贈後記念集合写真
前列右から北山・竹内・盲学校長・

グループ学習は7名で取り組みましたが、卒業後もボランティア活動を続けることを申し合わせて、現認定NPO法人神戸ミャンマー皆好会に加入し、今も3人が活動を継続している。

また、グループわにもミャンマー支援グループとして登録し活動しています。

在学中から竹内義治・東田正喜両氏が英語点字クラブに所属し、英語点字本の選定と製本について、今もクラブとの調整をして頂いている。2006年卒業の翌年「ミャンマー福祉ツアー」を実施、12名が参加しました。ヤンゴンとピンウーリンの盲学校や観光地を巡り、良い思い出になりました。

以後、福祉ツアーに皆好会訪緬ツアーを加え、ヤンゴン盲学校には、10度の訪問で英語点字本を寄贈することができました。

学習支援活動の継続と発展を！

8月4日 第2回学習支援者の集いを開催

平成29年度第2回の学習支援者の集いを、8月4日午後カレッジの学習室で開催しました。カレッジの地域交流活動の藤原リーダーと学習支援者など約30名が参加しました。



水町理事長のあいさつに続いて、学習支援のまとめを担当する岡本統一（生18）が平成29年度の小学校からの要請と対応状況について報告。現状は要請の内10数校について対応出来ていない状況。

語り部チームの渡辺寛治さん（国10）が「戦争と平和学習」語り部授業について、メンバー構成

今後の進め方について活発に討議

と授業内容の取り組み状況などを説明。この活動を続けていくために新しい人には是非参加して欲しいとのことでした。

藤原リーダーから、地域交流グループによる学校支援について説明。行事などの受付や登下校の見

守りの支援が多い。現役生とOBとが一緒になっての活動の事例がある。

「塩屋北小学校での特別支援」と題して活動事例を岡本統一より報告。毎日1名が特別支援。OB13名と現役生3名が仲間となって一緒に当番を決めて活動。新入生歓迎会や特別支援体験を実施している。

最後に新しい人の活動への参加が必要であり、その対応策について論議。

- ・現役生とのつながりが大事！
- ・特別支援の体験が必要。
- ・特別支援はかわいいと思う気持ちがあれば充分。

など、多くの貴重な意見が出されました。

（報告）学習支援委員会委員長 岡本 統一

東北被災地を10人で再訪

大川小学校に花よ咲け

報告 生環14期 南形 徹

寂寥とした校庭に廃墟をさらす石巻・大川小学校。慰霊碑にぬかずき碑文を読む。陽菜9才、洋平11才、美緒9才…刻まれた子供たち七十数人の名前を見ていると、目頭がじんと熱くなる（子供の氏名は仮名です）。第1次支援隊で訪れてから6年。あの時はメンバー全員が涙ぼろぼろ、大泣きしたものだだったが、今回はさすがに涙をぬぐうことはなく、あらためて過ぎ去った歳月を思いやった。

碑の前で献花ならぬ“献歌”をした。尺八、ハーモニカ、篠笛の伴奏で、「花は咲く」「ふるさと」を全員で歌った。いつの日か、ここがお花畑に蘇ることを祈って。周りには手を合わせる人や花束を供える人が今も絶えない。”献歌”は名取・閑上地区の慰霊碑と女川の献花台でも実施、暫し鎮魂の思いにひたった。

7月25日から27日まで、かつてボランティアで訪れた東北被災地を有志10人で巡った。お世話になった関係者へのお礼と、その後の町の復興ぶりを見て来ようと計画したもので、行った甲斐はあった。ヘドロの中でガレキ運びをした田んぼは、青々と稲が



大川小慰霊碑前で“献歌”するメンバー(7月25日)

育っていたし、名取・閑上地区と南三陸町は土壌嵩上げ工事の真っ最中だった。至る所に高さ10cmほどの土砂の山が出現、ダンプカーが走り回っていた。震災直後の面影は全くない。「どんな町になるのか、以前の風景は戻らないのか、私たちにも見当がつかえません」。案内役の女性は寂しそうだった。

一方で、港には活気が戻り、復興商店街がオープン、人口も少しずつ増えているという明るいニュースも聞かれた。女川町の復興ぶりは特にめざましい。新しいJR駅舎が建ったし、復興住宅の建設も早い。須田町長がめざす「コンパクトシティ」づくりが着々と進んでいるようだ。

▽参加メンバー＝海野龍英、堺 汎、内田たみ子、大澤貞男、清野 明、波多野武郎、高木良治、筒井ちなみ、南形 徹、増金すみ子（敬称略）

Wa
からの
お知らせ

◎グループわ の会員総数
1,444人/9月末日現在

◎水の科学博物館来場者数
37,141人/9月18日現在

◎秋のハイキング
紅葉の森林植物園と
トゥエンティクロスを歩く
11月16日(木)10時10分集合
神鉄谷上駅改札口前
申込:グループわ TEL.743-8101

◎KSC男声合唱団
第6回演奏会
～旅 男のロマン～
10月21日(土)13:15開場
14:00開演
神戸文化ホール 大ホール
入場無料(入場整理券が必要)
問い合わせ先:総務 小畑
(携帯)090-9097-4425

◎第12回楽遊クラブ
銭太鼓交流会
11月18日(土)12:30開場
13:00開演～16:00
シルバーカレッジ ホール
出演:楽遊クラブ銀雅、KSC
楽遊グループ、紅梅の会
(南あわじ)、銭太鼓北山、
若草楽遊会、華音(KAON)
〈入場無料〉

学習支援活動の継続と発展を！

8月4日 第2回学習支援者の集いを開催

平成29年度第2回の学習支援者の集いを、8月4日午後カレッジの学習室で開催しました。カレッジの地域交流活動の藤原リーダーと学習支援者など約30名が参加しました。



水町理事長のあいさつに続いて、学習支援のまとめを担当する岡本紘一(生18)が平成29年度の小学校からの要請と対応状況について報告。現状は要請の内10数校について対応出来ていない状況。

語り部チームの渡辺寛治さん(国10)が「戦争と平和学習」語り部授業について、メンバー構成

今後の進め方について活発に討議

と授業内容の取り組み状況などを説明。この活動を続けていくために新しい人には是非参加して欲しいとのことでした。

藤原リーダーから、地域交流グループによる学校支援について説明。行事などの受付や登下校の見

守りの支援が多い。現役生とOBと一緒に活動の事例がある。

「塩屋北小学校での特別支援」と題して活動事例を岡本紘一より報告。毎日1名が特別支援。OB13名と現役生3名が仲間となって一緒に当番を決めて活動。新入生歓迎会や特別支援体験を実施している。

最後に新しい人の活動への参加が必要であり、その対応策について論議。

- ・現役生とのつながりが大事！
- ・特別支援の体験が必要。
- ・特別支援はかわいいと思う気持ちがあれば充分。

など、多くの貴重な意見が出されました。

(報告) 学習支援委員会委員長
岡本 紘一

東北被災地を10人で再訪

大川小学校に花よ咲け

報告 生環14期 南形 徹

寂寥とした校庭に廢墟をさらす石巻・大川小学校。慰霊碑にぬかずき碑文を読む。陽菜9才、洋平11才、美緒9才…刻まれた子供たち七十数人の名前を見ると、目頭がじんと熱くなる(子供の氏名は仮名です)。第1次支援隊で訪れてから6年。あの時はメンバー全員が涙ぼろぼろ、大泣きしたものだったが、今回はさすがに涙をぬぐうことはなく、あらためて過ぎ去った歳月を思いやった。

碑の前で献花ならぬ”献歌”をした。尺八、ハーモニカ、篠笛の伴奏で、「花は咲く」「ふるさと」を全員で歌った。いつの日か、ここがお花畑に蘇ることを祈って。周りには手を合わせる人や花束を供える人が今も絶えない。”献歌”は名取・閑上地区の慰霊碑と女川の献花台でも実施、暫し鎮魂の思いにひたった。

7月25日から27日まで、かつてボランティアで訪れた東北被災地を有志10人で巡った。お世話になった関係者へのお礼と、その後の町の復興ぶりを見て来ようと計画したもので、行った甲斐はあった。ヘドロの中でガレキ運びをした田んぼは、青々と稲が



大川小慰霊碑前で“献歌”するメンバー(7月25日)

育っていたし、名取・閑上地区と南三陸町は土壌嵩上げ工事の真っ最中だった。至る所に高さ10ほほどの土砂の山が出現、ダンプカーが走り回っていた。震災直後の面影は全くない。「どんな町になるのか、以前の風景は戻らないのか、私たちにも見当がつかません」。案内役の女性は寂しそうだった。

一方で、港には活気が戻り、復興商店街がオープン、人口も少しずつ増えているという明るいニュースも聞かれた。女川町の復興ぶりは特にめざましい。

新しいJR駅舎が建ったし、復興住宅の建設も早い。須田町長がめざす「コンパクトシティ」づくりが着々と進んでいるようだ。

▽参加メンバー＝海野龍英、堺 汎、内田たみ子、大澤貞男、清野 明、波多野武郎、高木良治、筒井ちなみ、南形 徹、増金すみ子(敬称略)

新設グループの活動紹介

環境部会 『フードドライブ』 “もったいない”を“ありがとう”へ 代表 上利哲裕

フードドライブは、家庭で余っている食品を職場や学校などに持ち寄り、フードバンクを通じて福祉団体や施設に寄付する活動のことです。シルバークレジット（KSC）の中にこのフードドライブが浸透し定着することを願って1年間活動を続けてきました。食品ロスや子どもの貧困が社会問題化しているなか、神戸市とコープこうべの連携によるフードドライブが試行されるなど食の環境問題対策として関心が高まってきています。我々メンバー一同は、「もったいない”を“ありがとう”へ」をスローガンに、まずはKSCの中での定着化を、そしてさらに外部へと活動の輪を広げていけるように頑張っていきたいと思えます。皆さまのご協力をよろしくお願いします。



フードドライブ実施期間

毎月 1日～10日（土日祝・閉館日を除く）

回収場所 1階 エレベーター横

ご寄付いただきたい食品

- ・お米（白米・玄米・アルファ米）
- ・パスタ、素麺などの乾麺
- ・缶詰・レトルト食品・インスタント食品
- ・のり・お茶漬け・ふりかけ
- ・粉ミルク・離乳食・お菓子
- ・調味料（醤油、食用油、味噌など）

ご注意ください！

以下の食品はお引き取りできません。

- ・賞味期限が明記されていない食品
- ・賞味期限が切れている食品
- ・賞味期限が1ヶ月を切っている食品
- ・開封されているもの
- ・生鮮食品（生肉・魚介類・生野菜）
- ・アルコール（みりん、料理酒は除く）

いきがい部会「太極拳ゆったり体操」 ◆イスに座って出来ます！ 代表 岸野清美

◆グループを作った動機・現状

健福のG学習で、太極拳を取り上げたことです。介護予防のための体操はいろいろなものが研究され、実施されていますが、施設の方が座位で楽しみながら、身体を動かしていただけるものは？という事で以前から気になっていた「太極拳ゆったり体操」を調べることになり、卒業後それを実践しようと仲間と立ち上げました。喜多方市まで出かけ、太極拳クラブOBの方の協力を得て現在月2回位の割合で高齢者施設を訪問しています。

◆PRしたいこと

週1回太極拳の練習と共にゆったり体操を練習していますが、しっかりした仲間づくりができたこと、自分も年と共に？元気がなってきたこと。

◆将来の目標

本来の目的から言えば週1回位訪問できれば効果がみられるのではと思っているのですが、現時点ではできていません。

小グループを組んで多くの施設を訪問出来たらと思います。転ばぬ身体づくり、介護予防のためにこれからも頑張ります。



会費 入会費なし
練習日 月曜日 月2回程度
会場 神戸常盤アリーナ
(会場は変更になる時あり)



新設グループの活動紹介

環境部会 『フードドライブ』 “もったいない”を“ありがとう”へ 代表 上利哲裕

フードドライブは、家庭で余っている食品を職場や学校などに持ち寄り、フードバンクを通じて福祉団体や施設に寄付する活動のことです。シルバーカレッジ(KSC)の中にこのフードドライブが浸透し定着することを願って1年間活動を続けてきました。食品ロスや子どもの貧困が社会問題化しているなか、神戸市とコープこうべの連携によるフードドライブが試行されるなど食の環境問題対策として関心が高まってきています。我々メンバー一同は、「もったいない」を“ありがとう”へをスローガンに、まずはKSCの中での定着化を、そしてさらに外部へと活動の輪を広げていけるように頑張っていきたいと思っております。皆さまのご協力をよろしくお願いします。



フードドライブ実施期間

毎月 1日～10日(土日祝・閉館日を除く)

回収場所 1階 エレベータ横

ご寄付いただきたい食品

- ・お米(白米・玄米・アルファ米)
- ・パスタ、素麺などの乾麺
- ・缶詰・レトルト食品・インスタント食品
- ・のり・お茶漬け・ふりかけ
- ・粉ミルク・離乳食・お菓子
- ・調味料(醤油、食用油、味噌など)

ご注意ください!

- 以下の食品はお引き取りできません。
- ・賞味期限が明記されていない食品
 - ・賞味期限が切れている食品
 - ・賞味期限が1ヶ月を切っている食品
 - ・開封されているもの
 - ・生鮮食品(生肉・魚介類・生野菜)
 - ・アルコール(みりん、料理酒は除く)

いきがい部会「太極拳ゆったり体操」 ◆イスに座って出来ます! 代表 岸野清美

◆グループを作った動機・現状

健福のG学習で、太極拳を取り上げたこと。介護予防のための体操はいろいろなものが研究され、実施されていますが、施設の方が座位で楽しみながら、身体を動かしていただけるものは?という事で以前から気になっていた「太極拳ゆったり体操」を調べることになり、卒業後それを実践しようと仲間と立ち上げました。喜多方市まで出かけ、太極拳クラブOBの方の協力を得て現在月2回位の割合で高齢者施設を訪問しています。

◆PRしたいこと

週1回太極拳の練習と共にゆったり体操を練習していますが、しっかりした仲間づくりができたこと、自分も年と共に?元気になってきたこと。

◆将来の目標

本来の目的から言えば週1回位訪問できれば効果がみられるのではと思っているのですが、現時点ではできていません。

小グループを組んで多くの施設を訪問出来たらと思います。転ばぬ身体づくり、介護予防のためにこれからも頑張ります。



会費 入会費なし
練習日 月曜日 月2回程度
会場 神戸常盤アリーナ
(会場は変更になる時あり)



区会だより

東灘区会

◎「東灘チャイルドフェスティバル」

9月2日、東灘区役所による児童保護者子育て支援者が集い、地域における児童の健全育成、保護者の子育て支援につなげていくことを目的に「ひがしなだチャイルドフェスティバル」が、甲南大学岡本キャンパスで行われ、「東灘区会」「梅一つ火会」「ガイドの会」3グループがグループわとして参加しました。



東灘非公認検定試験では135名の方に、受験いただきました。展示コーナーでは、「東灘の華だんじり紹介」、「記憶に残そう東灘3大災害」、「東灘の花梅の紹介」を行いました。

◎郷土史「東灘の歴史、中世の東灘」をテーマに講演会が9月8日(金)東灘ボランティアガイドの会主催で、行われました。

中央区会

◎中央区会月例会、月例昼食会 毎月第1土曜日(10時30分～12時)に「こうべ市民福祉交流センター」にてグループわ全体の月次動向の伝達、区会員によるボランティア活動の情報交換、ボランティア依頼事項の検討会員同士の親睦、交流行事等の企画推進を目的に「中央区会月例会」を実施しています。



9月の月例会は2日に開催、終了後の昼食会はいつものお店を離れて「はたごや三宮店」でとなり、お酒なしでも、元気をもらい、ボランティアの心を学ぶ絶好の場で大変盛り上がりました。

西区会

◎ボランティア紹介

◆パーマリンク西神春日台にて習字指導
糺台在住の有田秀子さんは、4年前より毎週水曜日パーマリンク西神春日台にて習字指導されています

◆珠光庵にて川柳指導

美賀多台在住の南重子さんはKSC(福祉6期)卒業後阪急六甲近くのディサービス施設、珠光庵で毎月1回川柳指導をされています。

◎秋のウォーキング「神戸八社巡り」が10月19日に行わ

れます。

◎西区会バス旅行「柏原織田家ゆかりの城下町と史跡生野銀山見学」が11月1日(水)に行われます。

垂水会

◎同好会の紹介

1.グランドゴルフ同好会

・定例活動日 毎月第一、第三月曜日 9時スタート
・場所 垂水健康公園グランドゴルフ場
入会希望者は、例会日に健康垂水公園にお出でください
プレー道具は無料で借用出来ます

2.ゴルフ同好会

・定例活動日 年2回
・場所 垂水ゴルフ倶楽部・明石ゴルフクラブ(前年実績)
入会希望者は、例会案内の時お申込みください
(今秋は10月30日(月)に開催されます)

北区会

◎第10回認知症講座 第7回折り紙講座が9月27日(水)がシルバーカレッジ3・4教室で行われました



・認知症講座は今回を持って終了となりますが、折り紙講座は、脳トレに最も簡単にいつでもできる良さがあり、独立した催事として9月・10月・11月と開催します

◎親睦グラウンドゴルフ大会が10月4日(水)しあわせの村球戯場で行われ、終了後昼食会、懇談会をレストラン・アミーゴで実施しました。

◎親睦バスツアー「史跡和歌山城、紀州東照宮見学」が11月1日(水)に行われます。

須磨区会

◎ウオークラリー大会が奥須磨公園で開催

多井畑厄除八幡宮 駐車場に集合し、2～4人のチームで隠されたコースを探り、途中のチェックポイントを正しく通過して出発点に戻るまでの時間がどれだけ決められた時間に近いかを競います。

体力やスピードを競うのではなく、観察力と判断力が問われるゲームで、森林浴も兼ねています。



区会だより

東灘区会

◎「東灘チャイルドフェスティバル」

9月2日、東灘区役所による児童保護者子育て支援者が集い、地域における児童の健全育成、保護者の子育て支援につなげていくことを目的に「ひがしなだチャイルドフェスティバル」が、甲南大学岡本キャンパスで行われ、「東灘区会」「梅一つ火会」「ガイドの会」3グループがグループわとして参加しました。



東灘非公認検定試験では135名の方に、受験いただきました。展示コーナーでは、「東灘の華だんじり紹介」、「記憶に残そう東灘3大災害」、「東灘の花梅の紹介」を行いました。

◎郷土史「東灘の歴史、中世の東灘」をテーマに講演会が9月8日(金)東灘ボランティアガイドの会主催で、行われました。

中央区会

◎中央区会月例会、月例昼食会 毎月第1土曜日(10時30分～12時)に「こうべ市民福祉交流センター」にてグループわ全体の月次動向の伝達、区会員によるボランティア活動の情報交換、ボランティア依頼事項の検討会員同士の親睦、交流行事等の企画推進を目的に「中央区会月例会」を実施しています。



9月の月例会は2日に開催、終了後の昼食会はいつものお店を離れて「はたごや三宮店」でとなり、お酒なしでも、元気もらい、ボランティアの心を学ぶ絶好の場で大変盛り上がりました。

西区会

◎ボランティア紹介

◆パーマリンク西神春日台にて習字指導

糺台在住の有田秀子さんは、4年前より毎週水曜日パーマリンク西神春日台にて習字指導されています

◆珠光庵にて川柳指導

美賀多台在住の南重子さんはKSC(福祉6期)卒業後阪急六甲近くのディサービス施設、珠光庵で毎月1回川柳指導をされています。

◎秋のウォーキング「神戸八社巡り」が10月19日に行われ

ます。

◎西区会バス旅行「柏原織田家ゆかりの城下町と史跡生野銀山見学」が11月1日(水)に行われます。

垂水会

◎同好会の紹介

1.グランドゴルフ同好会

- ・定例活動日 毎月第一、第三月曜日 9時スタート
- ・場所 垂水健康公園グランドゴルフ場

入会希望者は、例会日に健康垂水公園にお出でください

プレー道具は無料で借用出来ます

2.ゴルフ同好会

- ・定例活動日 年2回
- ・場所 垂水ゴルフ倶楽部・明石ゴルフクラブ(前年実績)

入会希望者は、例会案内の時お申込みください

(今秋は10月30日(月)に開催されます)

北区会

◎第10回認知症講座 第7回折り紙講座が9月27日(水)

がシルバーカレッジ3・4教室で行われました

・認知症講座は今回を持って終了となりますが、折り紙講座は、脳トレに最も簡単にいつでもできる良さがああり、独立した催事として9月・10月・11月と開催します

◎親睦グラウンドゴルフ大会が10月4日(水)しあわせの村球戯場で行われ、終了後昼食会、懇談会をレストラン・アミーゴで実施しました。

◎親睦バスツアー「史跡和歌山城、紀州東照宮見学」が11月1日(水)に行われます。



須磨区会

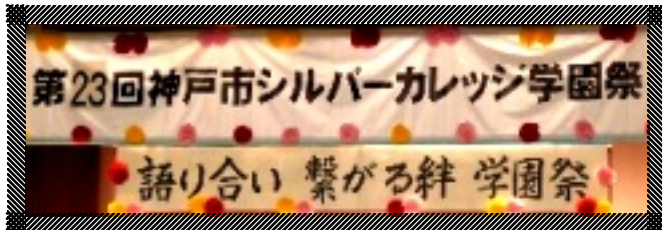
◎ ウォークラリー大会が奥須磨公園で開催

多井畑厄除八幡宮 駐車場に集合し、2～4人のチームで隠されたコースを探り、途中のチェックポイントを正しく通過して出発点に戻るまでの時間がどれだけ決められた時間に近いかを競います。

体力やスピードを競うのではなく、観察力と判断力が問われるゲームで、森林浴も兼ねています。



カレッジだより



10月7日(土曜)第23回学園祭が開催されました。午前中はあいにくの小雨模様でしたが、午後には曇り空に回復。屋外での設営等、大変でしたが、この日のために周到な準備をしてきた関係者全員の活力で予定通り実施。すばらしい一日となりました。



シートを被せて木工販売

↑会場を盛り上げたオールディーズ

ステージラストは会場からも参加の阿波踊り



グループわ も 学園祭に参加



↑グループわの活動を紹介
←雨中の販売をがんばる国際部会



同窓会の展示

お知らせ “もったいない” シンポジウム KSC主催、グループわ 共催

私たちの暮らしや社会にある
“もったいない”と思われることを見直し
市民一人ひとりが始められることは何か
一緒に考えましょう!

◎と き：2017年11月16日(木)13時～16時

◎ところ：カレッジホール

第1部 基調講演「廃貴物」の意味は「もったいない」

高月 紘氏 京エコロジーセンター所長

第2部 パネルディスカッション

パネリスト：たんすの肥やし、フードドライブ、ポトピアグリーンチーム、
ゴミ減らし通信舎、神戸市環境局

コーディネーター：北尾 進氏(KSC講師)



グループわ 平成29年度 役員体制

- | | | |
|---|---|---|
| 理事長
水町 亮治(生18) 中央 | 理事(非常勤)
道満 俊徳(生13)北区会長 北
柳川瀬 淳一(国13)国際部会長 須磨 | 部会長
福祉部会長 加藤 勇治(美10)
国際部会長 柳川瀬 淳一(国13)
環境部会長 池田 八郎(生17)
文化部会長 重松 豊彦(国9)
いきがい部会長 藤田 勝(福11) |
| 副理事長
田中 伸一(福19) 財務 長田
大槻 隆文(食20) 総務 西 | 監事(新任)
小畑 浩昭(国16) 北
岡本 紘一(生18)* 垂水
*学習支援委員会委員長 | |
| 理事
米増 享二(音19) 企画 北
杉原 ふき子(生18) 総務 須磨
五島 敬子(食20) 財務 中央
藤田 健一(福19) 広報 西
川部 忠夫(福20) 事業 須磨
平松 一(生20) 事業 須磨 | 区会長
東灘区会長 宮田 幸長(美17)
灘区会長 廣瀬 庫司(園17)
中央区会長 島ノ江 繁吉(生18)
兵庫区会長 後任人選中(注1)
北区会長 道満 俊徳(生13)
長田区会長 藤田 忠之*(福13)
*須磨一ノ谷プラザ責任者
須磨区会長 細野 恵久(福3)
垂水区会長 大橋 正文(生20)
西区会長 鈴木 隆美(生18) | |
| 理事(新任)
増井 良夫(生21) 企画 須磨
真川 俊雄(福21) 総務 須磨
才上 眞行(生21) 広報 北
浜田 哲夫(生21) 広報 長田
安部 文隆(福21) 事業 北
岸野 清美(福21) 事業 須磨
阪田 國彦(福18) 事業 長田 | | |

(注1)兵庫区会長の大掛さんが8月に退任されました。現在、兵庫区内で後任の方を人選中です。

◆ぎやらりーわ79号掲載の役員名等に、一部誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

H29年9月末日現在
名前(コース・期)担当 区会



グループわ 10月～12月のイベント

開催場所、日時	テーマ内容と協力グループ	連絡先
水の科学博物館 10月21日(土)	手話ソング KSC手話ソング同好会	水の科学博物館 ☎ 351-4488
10月22日(日)	バルーンアート うらしまたろう	
神戸芸術センター 10月21日(土) 10月22日(日) 28日(日)	書道 KSC書道部 茶道 和庵(なごみあん)	I A F O R ☎ 050-5806-3184
しあわせの村 10月29日(日)	野鳥観察会 後援神戸福祉振興協会	グループわ ☎ 078-743-8101
森林植物園 11月16日(木)	秋の森林浴ウォーク 森の仲間	グループわ ☎ 078-743-8101
水の科学博物館 12月9日(土)	クリスマスリース 花実の森	水の科学博物館 ☎ 351-4488
しあわせの村 12月17日(日)	北区ロードレース 北区会	北区役所 ☎ 078-593-1111

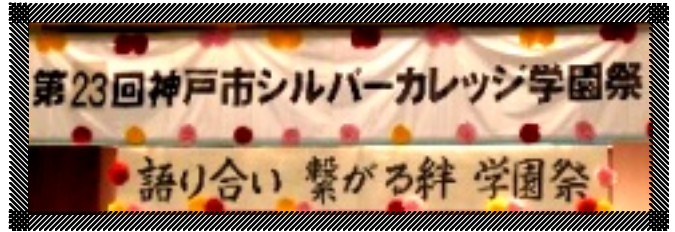
編集後記

☆今回のぎやらりーわで20周年特集も一区切りとなります。長期間の取り組みでしたが、多くの皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます(藤田)
☆〈わ〉のホームページ(HP)の更新作業も少し慣れ、より見やすいHPにしたいと思っています。一方、部会活動、地域活動等の活動は毎日のようにされていますが、それに比べ開催案内、活動記録の更新は一部と感じます。活動の原稿、写真のご提供をお願いします。(才上)
☆〈わ〉の仕事を始めて半年。手探りでいろんなイベントに参加。特に今月号の特集として初代委員長:福原さんのお話を直接お聞きし、〈わ〉誕生の経緯や先輩諸氏のご苦勞がより身近に感じられるようになりました。(浜田)

カレッジだより



10月7日（土曜）第23回学園祭が開催されました。午前中はあいにくの小雨模様でしたが、午後には曇り空に回復。屋外での設営等、大変でしたが、この日のために周到な準備をしてきた関係者全員の活力で予定通り実施。すばらしい一日となりました。



↑ 会場を盛り上げたオールディーズ



ステージラストは会場からも参加の阿波踊り →

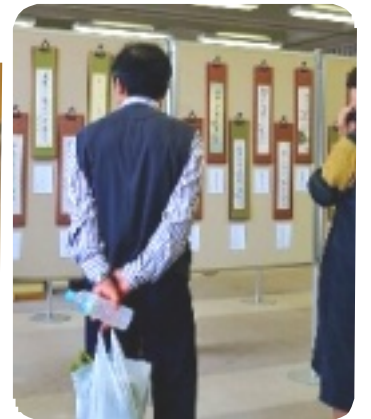


シートを被せて木工販売

グループわも 学園祭に参加



↑ グループわの活動を紹介
← 雨中の販売をがんばる国際部会



同窓会の展示

お知らせ “もったいない” シンポジウム KSC主催、グループわ 共催

私たちの暮らしや社会にある
“もったいない”と思われることを見直し
市民一人ひとりが始められることは何か
一緒に考えましょう！

◎と き：2017年11月16日（木）13時～16時

◎ところ：カレッジホール

第1部 基調講演「廃貴物」の意味は「もったいない」

高月 紘氏 京エコロジーセンター所長

第2部 パネルディスカッション

パネリスト：たんすの肥やし、フードドライブ、ポートピアグリーンチーム、
ゴミ減らし通信舎、神戸市環境局

コーディネーター：北尾 進氏（KSC講師）





グループわ 平成29年度 役員体制

理事長

水町 亮治(生18) 中央

副理事長

田中 伸一(福19) 財務 長田
大槻 隆文(食20) 総務 西

理事

米増 享二(音19) 企画 北
杉原 ふき子(生18) 総務 須磨
五島 敬子(食20) 財務 中央
藤田 健一(福19) 広報 西
川部 忠夫(福20) 事業 須磨
平松 一(生20) 事業 須磨

理事(新任)

増井 良夫(生21) 企画 須磨
真川 俊雄(福21) 総務 須磨
才上 眞行(生21) 広報 北
浜田 哲夫(生21) 広報 長田
安部 文隆(福21) 事業 北
岸野 清美(福21) 事業 須磨
阪田 國彦(福18) 事業 長田

理事(非常勤)

道満 俊徳(生13) 北区会長 北
柳川瀬 淳一(国13) 国際部会長 須磨

監事(新任)

小畑 浩昭(国16) 北
岡本 紘一(生18)* 垂水
*学習支援委員会委員長

区会長

東灘区会長 宮田 幸長(美17)
灘区会長 廣瀬 庫司(園17)
中央区会長 島ノ江 繁吉(生18)
兵庫区会長 後任人選中(注1)
北区会長 道満 俊徳(生13)
長田区会長 藤田 忠之*(福13)
*須磨一ノ谷プラザ責任者
須磨区会長 細野 恵久(福3)
垂水区会長 大橋 正文(生20)
西区会長 鈴木 隆美(生18)

部会長

福祉部会長 加藤 勇治(美10)
国際部会長 柳川瀬 淳一(国13)
環境部会長 池田 八郎(生17)
文化部会長 重松 豊彦(国9)
いきがい部会長 藤田 勝(福11)

(注1) 兵庫区会長の大掛さんが8月に退任されました。現在、兵庫区内会で後任の方を人選中です。

◆ぎやらりーわ79号掲載の役員名等に、一部誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

H29年9月末日現在
名前(コース・期)担当 区会



グループわ 10月~12月のイベント

開催場所、日時	テーマ内容と協力グループ	連絡先
水の科学博物館 10月21日(土)	手話ソング KSC 手話ソング同好会	水の科学博物館 ☎ 351-4488
10月22日(日)	バルーンアート うらしまたろう	
神戸芸術センター 10月21日(土)	書道 KSC 書道部	I A F O R ☎ 050-5806-3184
10月22日(日)	茶道	
28日(日)	和庵(なごみあん)	
しあわせの村 10月29日(日)	野鳥観察会 後援神戸福祉振興協会	グループわ ☎ 078-743-8101
森林植物園 11月16日(木)	秋の森林浴ウォーク 森の仲間	グループわ ☎ 078-743-8101
水の科学博物館 12月9日(土)	クリスマスリース 花実の森	水の科学博物館 ☎ 351-4488
しあわせの村 12月17日(日)	北区ロードレース 北区会	北区役所 ☎ 078-593-1111

編集後記

☆今回のぎやらりーわで20周年特集も一区切りとなります。長期間の取り組みでしたが、多くの皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます(藤田)
☆〈わ〉のホームページ(HP)の更新作業も少し慣れ、より見やすいHPにしたいと思っています。一方、部会活動、地域活動等の活動は毎日のようにされていますが、それに比べ開催案内、活動記録の更新は一部と感じます。活動の原稿、写真のご提供をお願いします。(才上)
☆〈わ〉の仕事を始めて半年。手探りでいろんなイベントに参加。特に今月号の特集として初代委員長:福原さんのお話を直接お聞きし、〈わ〉誕生の経緯や先輩諸氏のご苦勞がより身近に感じられるようになりました。(浜田)

しあわせの村まつり…7/29 (土)

7月29日(土)、しあわせの村祭りが開催され、27,000人の来場者がありました。

グループわからは「むかしあそび研究会」「うらしまたろう」「〈わ〉本部」が協賛しました。



妖怪ホイホイ
うまく捕まえたよ!



輪投げ…がんばってね!

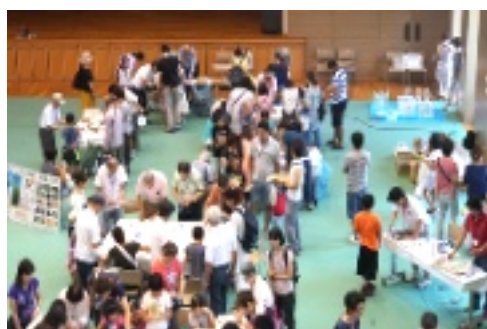
割り箸鉄砲
狙いを定めて!



ぶんぶんゴマ…
きれいに塗ってね!

トピックス

夏休み工作塾…8/6 (土)



里山グループ
つる細工



木工グループ…モバイル他

ケナフ
絵はがき作り



創エネ神戸…ソーラーカー!



花実の森・
バーニングアート

パソコン何でもお好み塾…毎週火・金 9:30-11:30

貴方に合わせてマンツーマン指導!

受講料1,500円/日 新長田ふたば学舎



お問い合わせは、グループわまで

☎ 078-743-8101

